

総合型クラブ新聞

〒920-0937
金沢市丸の内3番3号
Tel.261-8128 Fax.261-8893

出来ることから始めよう！

スポーツボランティア

クラブの設立、運営を支えるボランティアはクラブにとつて無くてはならない存在です。では、その重要な役割を担うボランティアはどのようなクラブに集まってくるのでしょうか。

ボランティアとは？

「個人の自由意志に基づき、その技能や時間等を進んで提供し、社会に貢献すること」

自発性

無償性

利他性
(公共性)

ボランティアの募集や参加の動機づけは？

「ボランティア」は、言うまでもありませんが強制的にするものではなく、あくまで個人の自発的な活動をさします。とはいえ、ボランティアに参加するきっかけは、「友人・知人に誘われて」ということも多いのですが、「自発的な参加」という行動に至る第一歩は、クラブの理念や目的が意義深いものだと感じたり、クラブの活動内容や専門性が自分の関心領域だったり、クラブの活動実績に興味や共感を持ったりすることから始まります。そのため、クラブの理念・目的や活動実績・効果などについて、日頃から積極的にPRしておく必要があります。地元の新聞やテレビなどマスコミにクラブの活動を紹介してもらい、社会的な信用力をつけておくのも、ボランティアの参加促進に少なからず効果があります。

クラブのボランティアには、運営にかかわる定期的なものから、イベントのような単発のもの、また、誰でもできるものから専門性の高いものまで幅広くあります。クラブの役員は概ねボランティアです。スポーツの指導はもちろんです。クラブには運営にかかわる様々な仕事で人手が必要となります。ボランティアを募集する場合、内容、時間・頻度などを明確にして募集をしましょう。ただ「ボランティア募集」という文言だけでは、何をやるのかわからないなどの不安から、積極的に手をあげにくいものです。「ボランティア」と言わなくても、「あなたの力が必要とされています。あなたを力をおこなうに貸してください」という直接的な表現で必要性を訴えた方が、参加する側に熱意が伝わるかもしれません。

時間についても、無理のない範囲で参加できるように配慮することが望まれます。例えば、1ヶ月1〜2回程度、1回2時間以内位が一般的に参加しやすい時間のようです。この程度であれば、負担感をもたず、空いた時間で参加しようと思ってくれる人が多くなるはず。クラブ開催のイベント時など、単発のボランティアから始めるのが最も参

加しやすい方法です。募集方法は、知人友人のネットワークの活用、グループ単位での声かけ、学校・大学との連携、ボランティア・センターの活用、行政の広報誌などへの掲載など、様々なルートを開拓しましょう。1回でも参加してくれたボランティアは、個人情報保護に留意しつつ関心領域や得意分野、都合のつく時間などをデータベース化しておいて、次回に声をかけられるようにしておきたいものです。

ボランティアを定着させるには？

クラブが地域に根ざした公益的な活動組織だからこそ、ボランティアなどの多様な人材の参加が図られ、それがクラブ運営を成功させるための重要なポイントにもなります。しかし、ボランティアを単に「安上がりな労働力」という位置づけをすることは大きな間違いです。そのような意識がある限り、ボランティアは定着しないことを肝に銘じたものです。

「勤労者のボランティア活動に関する意識調査」(厚生労働省2003年)によると、ボランティアを行う目的は、「人のために役立ちたいから」(65.4%)に次いで、「自分自身の成長のため」(55.8%)、「様々な人々とのネットワークを深めるため」(42.8%)が続いています(複数回答)。つまり、ボランティアをする人の多くは、人間的な成長や新たなネットワークづくりをボランティア活動に期待しているのです。こうした期待に応えられるような場や機会づくりをクラブ側でも意識してボランティアに提供することが大切です。

動機づけ

利他的動機

- 社会的義務…他人や社会に貢献するため
- 能力・経験活用…自分の持っている知識、能力や経験を生かし、役立てるため
- 地域奉仕…地域、地元へ貢献、奉仕するため

利己的動機

- 社交…人との出会い、交流、協力を通して得られる喜びを求めするため
- 学習…生涯学習や社会勉強の機会として知識、能力や経験を獲得するため
- キャリア…現在の仕事や将来の就職に役立つような能力、経験の獲得、および人的ネットワーク拡大を求めするため
- 自己改革…自分を変え、人間として成長するきっかけを求めするため

また、その人自身の得意分野を見つけ、個人的に「その得意分野で力を貸して」とお願いするのも効果的です。イラスト、パソコン、書類作成、会計・経理、編集、料理など、得意分野や好きな分野で頼まれると時間さえ許せば断る人はまずいません。「あなたでないとできない仕事」をつくっておくようにしましょう。時間の都合がつけば継続して参加してもらえれば可能性が高くなります。これはその人のことをよく知ってからのことではないので、普段から個人個人に注目して情報を集めておくことです。どんなボランティアや会員がいて、何に関心があり、何が好きで、趣味は何で、どんな仕事や経験があるのかなど、人間関係づくりと共に情報収集していくことも望まれます。

ボランティアをした際に、感謝の気持ちをきちんとして表現して伝えることも定着に向けて必要です。たとえば、パンフレットやブログラムへの名前掲載、感謝カード(手紙)や記念品の授与、感謝パーティ開催などがあります。活動のポインティ化(地域通貨など)もボランティアの定着と同時に、会員同士の交流やクラブライフを楽しむ道具にもなります。

フィードバック

利他的動機

- 会員・参加者の成果を知らせる
「あなたのサポートで〇〇さんは体調がよくなりましたね」
「あなたの指導で〇〇くんは泳げるようになりましたね」

利己的動機

- 仕事の評価とアドバイス
ボランティアへの研修会を実施
- やりがいのある仕事をあたえる、得意分野を見つける

新規 平成18年度育成指定クラブ 総合型クラブ紹介

(仮称)かなざわ総合スポーツクラブ

対象地域：金沢市全域
設立予定年：平成20年2月
金沢市とその周辺生活圏を含む「かなざわ」で、「スポーツを『する、見る、支える』機会を提供し、みんなで元気なまち創り」をめざして準備を進めています。上半期は、設立準備委員会、運営委員会を重ね、2つのスポーツ教室を開催し、1つのPR活動を行った。下半期は更に、障害者を含む誰もが体験できるもの、上級指導員によるレッスン、シニア世代向けの教室など、6つの事業を企画試行しています。また、この時期に多くの協力者とクラブ会員を増やすべく、ヒアリング等を重ね、平成20年2月の設立をめざしています。



ジュニアバドミントン教室



フライングディスク教室

伏見台総合型地域スポーツクラブ(仮称)

対象地域：金沢市伏見台地区
設立予定年：平成20年度
全国的にも例が少ない公民館を中心とした総合型スポーツクラブの育成を目指しています。その先駆けとして伏見台が模範となるよう頑張っています。その先住民の意識を知るために18年9月にアンケート調査を実施し、金沢大学の佐川先生に分析をお願いした。その結果を踏まえて今後の活動を進めていきたいと考えている。現在、富樫公民館は再建中で完成後は会員間の交流の場となるクラブハウスとしての役割が期待されます。



太極拳教室(生涯スポーツ教室)



伏見台ニュースポーツフェスティバル

能登町スポーツクラブ(仮称)

対象地域：能登町全域
設立予定年：平成20年3月
少子高齢化が進み、何とか地域の活性化、希薄になった人間関係を打開するために、能登町スポーツクラブの役割は大きい。設立準備のための初年度は難関が多く、苦勞の絶え間がないが、話し合いを重ねて山積みの問題点を一つずつクリアし、目的達成のため頑張っています。



エンジョイスポーツ教室(バスケットボール)



エンジョイスポーツ教室(空手道)

編集後記

ボランティアが求めるものはそれぞれ違います。それぞれのボランティアを理解し、またクラブの理念や目的を理解してもらい、みんなで自分たちのクラブを運営しているということを感じられるといいですね。その様な仕組みが確立できれば人が人を呼び、素晴らしいクラブになるのではないのでしょうか。